

NO30 江戸初期の対外関係

2018 本試 江戸時代の日朝関係

江戸時代の日朝関係について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 幕府は1609年の巴酉約条にもとづき、日朝貿易を独占した。
- ② 朝鮮から日本へ送られた使節は、謝恩使とよばれた。
- ③ 釜山に倭館がおかれ、日朝貿易の窓口とされた。
- ④ 徳川家綱は、朝鮮からの国書における将軍の表記を「日本国王」に改めさせた。

正解→日朝貿易を独占したのは対馬藩、謝恩使でなく通信使、家綱でなく家宣、③

NO244 江戸初期の対外関係 2007 本

対外関係の枠組みが整ったについて、述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから1つ選べ。

- ① キリスト教禁圧の徹底をはかり、ポルトガル人を追放した。○
- ② 日本人の海外渡航を禁止し、すでに海外にいる者の帰国も禁じた。○
- ③ 海舶互市新例を出して、長崎の貿易額を制限した。✖新井白石の時代
- ④ オランダ商館を長崎に移した。

誤文→③

NO245 キリスト教と対外政策 2005 本

キリスト教や幕府の対外政策に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に並び替えよ。

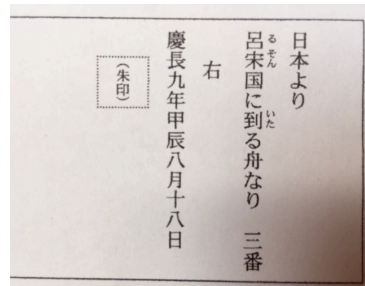
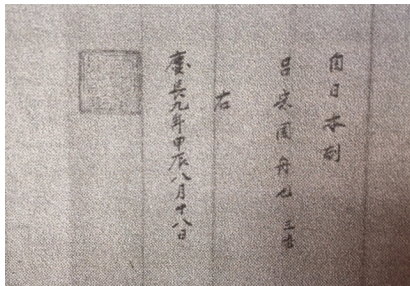
- Ⅰ コレジオやセミナリオが、各地に建てられた。1580年代
- Ⅱ 中国人の居住地を、長崎の唐人屋敷に限定した。1689
- Ⅲ 中国船以外の外国船の寄港地を、平戸と長崎に限定した。1616

正解→Ⅰ-Ⅲ-Ⅱ

NO246 江戸初期の対外関係 2015 本 難問

次の史料に関して述べた下の文XYについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

史料



- X このような渡航許可証は、天皇から与えられた。
- Y 史料で示された渡航先は、現在のベトナムである。

- ① X 正 Y 正
- ② X 正 Y 誤
- ③ X 誤 Y 正
- ④ X 誤 Y 誤

正解→④。ルソンがどこなのかは、生徒は苦手かもしれない。フィリピン。ルソン島。

NO247 江戸時代の朝鮮・琉球・中国・オランダ 2015 本

江戸時代の朝鮮・琉球・中国・オランダに関して述べた下の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 秀吉による侵略の失敗ののち、朝鮮と江戸幕府との間で条約が結ばれ、長崎において日朝貿易が行われることになった。✖
- ② 琉球王国は薩摩藩により武力征服されたが、一方では、中国と琉球王国との朝貢貿易は維持された。○
- ③ 寛永期に幕府は、中国船の来航を長崎に限定し、渡航許可書である朱印状を中国船に与えて、日本と中国との朝貢貿易を行った。✖
- ④ オランダ船来航のたびに提出されたオランダ国王の親書によって、幕府は海外の情報を得ることができた。

正解→②

NO248 江戸時代初期の外交 2011 本

1635年には日本人の海外渡航と帰国を全面的に禁じていた」に関連して、江戸時代初期の外交について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 己酉約条によって、対馬の宗氏が朝鮮貿易を独占することになった。
- ② 幕府の許可を得たオランダ・イギリスが平戸に商館を設けた。
- ③ 伊達政宗は通商を求めて支倉常長をロシアへ派遣した。
- ④ 幕府は特定商人に糸割符仲間をつくらせ、輸入生糸の一括購入をはからせた。

誤文→③ロシア✖→スペイン。

NO249 ヨーロッパ人の来航 2014 本 やや難

ヨーロッパ人の来航に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列しなさい。

- Ⅰ オランダ船リーフデ号が豊後国に漂着した。
- Ⅱ スペイン人が肥前国平戸に来航し、日本との貿易を始めた。
- Ⅲ 種子島に漂着したポルトガル人が鉄砲を伝えた。

正解→Ⅲ-Ⅰ-Ⅱ

将軍	大御所	事項
徳川家康		1600 オランダ船【リーフデ号】漂着 【ヤン=ヨーステン】(蘭)⇒家康の外交顧問 【ウィリアム=アダムス】=[三浦按針](英)⇒家康の外交顧問 1604 【糸割符制度】⇒ポルトガルの生糸独占打破

徳川秀忠	家康	1609 オランダ、平戸に商館開設 1610 【田中勝介】がノビスパンへ、貿易交渉は失敗 1612 幕領に【禁教令】⇒翌年全国へ 1613 イギリス、平戸に商館開設 ⇒慶長遣欧使節…【伊達政宗】が【支倉常長】を欧州に派遣 1614 キリシタンをマニラ・マカオに追放(高山右近、マニラへ)
		1616 ヨーロッパ船の来航を長崎・平戸へ 1622 【元和の大殉教】⇒長崎で信者・宣教師 55 名虐殺
徳川家光	忠秀	1623 イギリスが商館を閉鎖して撤退 1624 スペイン船来航禁止
		1633 【奉書船】以外の海外渡航禁止(寛永十年禁令) 1635 【日本人の海外渡航と帰国の全面禁止】(寛永十二年禁令) 1637 ※【島原の乱】 ⇒首領 天草四郎 ⇒老中【松平信綱】の鎮圧 1639 【ポルトガル船】の来航禁止(寛永十六年禁令) 1641 オランダ商館を長崎の【出島】へ

<p>【長崎】オランダ人は【出島】に商館で交易。 オランダ商館長は【オランダ風説書】海外情報、中国人は【唐人屋敷】で交易 【対馬】⇒【宗氏】が外交の窓口 1609年【己酉約条】を結ぶ 朝鮮からは【通信使】来日 【薩摩】島津氏の統制⇒【琉球王国】の支配、將軍の代替わりに【慶賀使】琉球国王の代替わりに【謝恩使】を幕府に派遣 【松前】⇒松前氏の統制、【蝦夷地】の支配 商場知行制⇒場所請負制</p>

●朱印船貿易

<p>【朱印船】⇒將軍の許可証である朱印状により渡航許可 【日本町】⇒アユタヤ・フェフォ・ツーランなど、【山田長政】(シャム王室で登用される)貿易家:島津家久(薩摩)、有馬晴信・松前鎮信(肥前) 【角倉了以】・茶屋四郎次郎(京都)、【末次平蔵】(長崎)、末吉孫左衛門(摂津)</p>

●鎖国体制(四つの口)



NO250 島原の乱以後の出来事 2004 追試 やや難

島原の乱ののち起こった出来事を示すものの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

- a 徳川氏は、豊臣氏を滅ぼし、名実ともに全国を支配した。
 - b 幕府は、田畑永代売買禁令を出した。1643年の家光の時代
 - c 幕府は、ポルトガル船の来航を禁止した。1639年の寛永十六年の禁令
 - d 幕府は、スペイン(イスパニア)船の来航を禁止した。1624年のこと。
- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

正解→島原の乱(1637～38年)は家光の時に起こった。③

NO251 松前藩 2013 本

松前藩に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 松前藩主は、アイヌとの交易の独占を室町幕府から公認された。✖徳川家康から公認
- ② シャクシャインの戦いに敗北した松前藩は、アイヌ交易の主導権を失った。✖勝利
- ③ 松前藩では、アイヌとの交易権を家臣に分与する商場知行制がとられた。
- ④ ロシア船の来航を機に、江戸幕府は松前藩を改易し、五稜郭に松前奉行を置いた。✖五稜郭は1864年に完成した城塞である。

正解→③

STEP2 私大対策 記述式

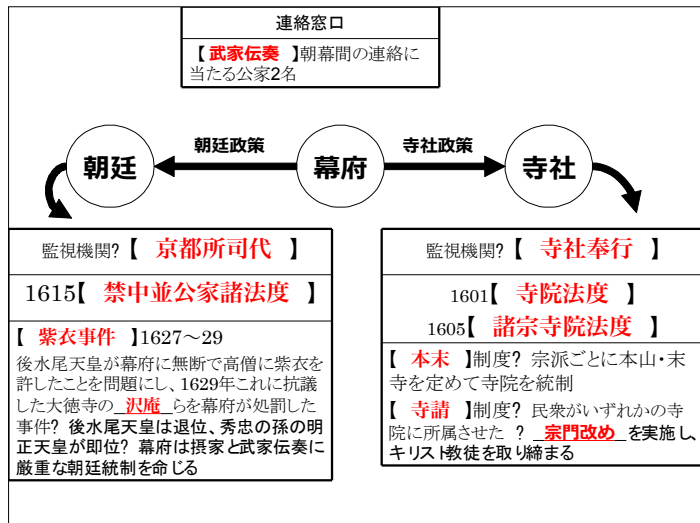
出題のPOINT

イギリス・オランダとの交易では、リーフデ号に関する事項が狙われる。ポルトガルとの交易では糸割符制度、とくに五ヶ所商人の「五ヶ所」は必ず覚えておく。鎖国への経過は、年代も含めて鎖国令にそってまとめておく。出題される箇所はほぼ限られており、難問は少ない。長崎貿易に関してはオランダ風説書・唐人屋敷、朝鮮・琉球・蝦夷地との関係では、通信使、謝恩使・商場知行制・場所請負制・シャクシャインの乱がキーワード。

江戸初期の外交

1600年、a オランダ船が豊後に漂着し、b 新教国との貿易が始まった。太平洋航路による貿易も企図され、伊達政宗は(1) (支倉常長)を太平洋経路でローマに派遣している。一方、中国産生糸には(2) (糸割符)制度が導入され、五ヶ所商人が(3) (糸割符仲間)を結成して一括購入し、適正価格を維持するようにした。

江戸時代初期、多くの日本人がc 東南アジアに渡航し、d 日本町が形成された。貿易を担ったのはe 幕府とつながる豪商や西国大名で、幕府は(4) (朱印状)と呼ばれる渡航許可証を発行した。



武器としての日本史

Pain is inevitable Suffering is optional

朝鮮との国交は対馬・宗氏によって回復し、将軍の代替わりごとに(5) (通信使) が来日した。一方、薩摩藩によって征服された琉球は日中両属となり、将軍と国王の代替わりごとに f 使節が江戸に来た。

<設問>

- a 船名を記せ。正解→
- b 幕府の外交顧問に登用されたオランダ人とイギリス人は誰か。正解→
- c 東南アジアに渡航したのはなぜか。正解→
- d 日本町が形成されたところを2カ所記せ。正解→
- e どのような者がいたか。正解→
- f どのような使節が江戸に来たか。正解→